

平成 30 年度 すこやかメールマガジン 第 601 号【待ち合わせ】 7 月 5 日配信

先日、部活帰りの娘を、車で駅へ迎えに行き、しばらくの間待っていた。

しかし、どうも様子がおかしい。

到着時刻になっても電車が来ないのだ。

しばらくして、電車が「運転を見合わせている」ということを知る。

一瞬、頭が真っ白になった。

なぜなら、娘は、今朝、自宅にスマホを忘れていったからである。

このまま、この駅で娘を待つべきか。

それとも、娘がいるであろう駅まで迎えに行くべきか不安になる・・・。

NHK で放送中の連続テレビ小説『半分、青い。』を観ている。主人公たちが登場する時代設定は昭和の終わりから平成の初めにかけて。当時を知る私は、妙に親近感を覚えてしまう。あの頃は、携帯電話もなければ、メールもそして SNS もなかった。相手との連絡手段といえば、電話か手紙だけであった。

だから、待ち合わせをする時には、例えば、「9 時に〇駅南口の改札前で！もし 30 分過ぎても来なかったら・・・」などと詳細に約束事を決めていた。でも、それが不自由だとは思ったことはなかった。しかし、今は、いつでも連絡が取れると思うからか、アバウトな決め事でも待ち合わせが成立してしまう。「9 時ごろ〇駅あたりで！近くに來たら LINE でね！」など、時間や場所が曖昧であっても、SNS で微調整ができる。だから、今は、約束のプレッシャーが、スマホによって一気にゆるくなったと思う。

私もいつの間にか、「いつでも連絡が取れる」ということに慣れていた。だから、いざ、スマホが使えないと分かったとき、娘とざっくりとした約束しかしていなかったことをちょっと悔いた。

とは言え、スマホを忘れていった娘のおかげで、久しぶりに、簡単に連絡を取り合う事が出来なかったあの頃の事を思い出すことができた。あの頃は、今から見れば、不自由であったものの、その分、相手の都合を考えて、待つ事が出来たと思う。

結局、娘は友達の手から電話連絡をしてきたため、事なきを得た。「いつでも連絡が取れる」という思いが強ければ強いほど、相手の都合を考えて待つことができなくなっていくような気がするの、私だけだろうか。

ところで、今年 5 月、シチズン時計が全国の 20~50 代 400 人に「待ち時間」に関する意識

調査をした結果が興味深い。それによると、多くの方がイライラを感じずに待っていられる時間の限界は、電話の取り次ぎ 30 秒。エレベーター1分。役所の窓口 15 分。病院の診察 45 分、メールの返信 1 時間だとか・・・。

それにしても、世の中、最短時間で答えが出ることばかりではないだろう。待った挙げ句に期待通りの成果が出ないことだってあるに違いない。だからこそ、便利になった今でも、あの頃のような「待ち合わせ」で、相手を思いやる気持ちというものは、大切なような気がする。何事も、待てない社会の未来は、居心地がいいとは思えないのです。【A】

※次回のメルマガは、7月11日（水）に配信します。

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。（アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^_^)）

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」(<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>) > 「発行物・刊行物」
> すこやかメルマガ

○「すこやかメール相談」このアドレスに返信することで子育てに関わる相談が受けられます。乳児から小中学校での困り事などお気軽にご相談ください。

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

【転送からの登録手順】

「このメルマガを友人・知人に転送する」→「受け取った方が登録用アドレスを確認する」
→「『メルマガ配信希望』と入力し送信する」→「配信登録完了！」（次回から直接、メルマガを受信することができます）

【紹介からの登録手順】

アドレス kosodatem@pref.iwate.jp をご紹介していただき、「配信希望」とメールすれば登録できることをお伝え願います。

これからも、どうぞよろしく申し上げます(^_^)/

【発行】

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口 2-82-13

TEL 0198-27-4555

URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> 「まなびネットいわて」で検索